

技術分野分類 1301：医用生体工学・生体材料学

技術キーワード B-N：生体機能材料 B-Q：生体適合材料

産業分類 E-32：その他製造業、 P-83：医療業

名城大学

内 容	概要	我々の研究室では、金属、セラミックス、高分子による生体材料の研究開発を行っています。医療機関や他大学と連携し、材料開発、物性評価、生体親和性の評価を行っています。また臨床医からの要請に応じて、医療用具や評価装置の設計・試作を行っています。
	従来技術・ 競争技術 との比較 (優位性)	医療用具の事業化は監督官庁の許認可が必要であり、容易ではありませんが、我々は物性評価や動物実験を分担することが出来ます。更に当研究室では、医療機関や企業、他大学と共同研究を積極的に行っています。
	本技術の 有用性	当研究室の目標は、材料研究開発を通じて、医療の発展に貢献することである。その為には、材料力学などの知識を基礎とし、医学的知識を学び、新しい生体材料や医療技術の研究開発を行うと共に、教育機関として、生体材料の研究活動や学術発表を通じて材料分野の技術者を育成し、社会に送りだしています。
関連情報 (図・表・写真等)	   <p>図1 実験室の様子      図2 兎への装着      図3 骨代替金属</p>	
適用可能製品	医療分野、福祉機器、機械材料、セラミック材料	
技術 シーズ 保有者	氏名 所属・役職	服部 友一 (ハットリ トモカズ) 名城大学理工学部材料機能工学科 教授、学科長
技術 シーズ 照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	名城大学 学術研究支援センター 産学連携担当 052-838-2036 / 052-833-7200 liaison@ccmails.meijo-u.ac.jp

■知的財産

■試作品状況      無      **提示可**      提供可

作成日 2011年10月18日